

## 令和元年度第1回 赤穂海浜公園管理運営協議会 議事録

日 時：令和2年3月13日（金）14:30～16:20

場 所：赤穂海浜公園オートキャンプ場会議室

出席者：別添 出席者一覧表参照

配付資料：資料1 設立趣旨

資料2 赤穂海浜公園管理運営協議会開催要綱

資料3 赤穂海浜公園管理運営協議会公開要領

資料4 赤穂海浜公園魅力アップ計画

資料5 協議会で扱う検討事項案とスケジュール

資料6 「魅力アップ計画」アクションプランで提言された、地域や企業・団体、大学との連携の強化の取り組み

資料6-1 赤穂海浜公園イベント募集チラシ案

資料6-1-1 赤穂海浜公園イベント利用可能範囲

資料6-1-2 赤穂海浜公園の利用促進に向けた利用ルール見直し(案)

### 1 開 会／事務局

#### 開会挨拶 光都土木事務所長

本日の協議会は、現在、西播磨地域で感染者が出てないこと、参集者がほぼ西播磨地域の方であること、本協議会が本日設立のため書面会議のような形ができないこと、また、本日の話題が来年度のできるだけ早い時期から取り組みをはじめたいという事情等から感染予防対策を十分とることで開催することとした。

本協議会は、赤穂海公園の利活用を推進するため、昨年度策定された「赤穂海浜公園魅力アップ計画」に基づき、計画の中で提言された取り組みを推進するための方策を議論する場として設置する。

本日は、アクションプランの一番最初の取り組みとして、現在、公園の利用が限られている公園内でのイベント活用を活発化するような方策について事務局から提案する。具体的には、イベント募集チラシを作成し、広く広報してイベント利用をどんどん取り入れていきたいと考えている。

本日の議論を踏まえて、十分な準備をして、積極的な方策を実行に移したいと考えているので、本日は活発な意見交換をよろしくお願いいたします。

### 2 委員紹介／事務局

出席者名簿参照

### 3 赤穂海浜公園管理運営協議会について

#### (1) 設立趣旨／事務局

資料1を説明

#### (2) 管理運営協議会要綱／事務局

資料2を説明

#### (3) 会長選出／事務局

事務局より会長の選出について諮ったところ、昨年の魅力アップ計画検討会と同様に、赤澤構成員の推薦があり、全会一致で了承された。

#### 会長挨拶

魅力アップ計画に引き続いて会長をさせていただきます。円滑な管理運営に向けてご協力よろしくお願いします。

協議会の設立趣旨説明の中で、以前にも協議会を設置して活動していたが、活動が役割を終えたということで一旦、解散しました。それを新しい形で、魅力アップ計画を母体にしなから、もう一度、協議会を設置してやってみようということになります。その間に社会情勢も変化しており、これまで公園も自然環境というところに閉じていたものを、もっといろんな方や色んなことに使いたいという様々なニーズに対応できるよう法改正もされて、公園でいろんなことができるようになってい。それを受けて皆様に団体代表として来ていただいているので、団体でこんなことしたいという意見をいただければありがたい。その他、これまで公園に来てなかった方々に使ってもらうためには、こんなことをしたらいいんじゃないかという率直な意見もいただき、今後の管理運営の参考にしたい。

#### (4) 管理運営協議会公開要領／事務局

- ・資料4のとおり承認
- ・議事録は委員の意見、議長の進行がわかるようにまとめた形とする

### 4 議 事

#### (1) 赤穂海浜公園の現状と課題について

- ・赤穂海浜公園魅力アップ計画 資料4
  - ・協議会で扱う検討課題とスケジュール 資料5
- 事務局説明

## 意見交換／各委員からの主な意見と事務局の回答

### 委員長

整備中の芝生滑り台付近に、親御さんが子供を見守るような場所はあるのか。また、ふらっと来た親御さんがずっと立ったままにならないよう、レジャーシートを貸し出しするとか、親と子がずっと遊び続けられるようなサービスを考えてはどうか。

芝生すべり滑り台で団体利用者同士のブッキングが生じないように予約受付などの利用調整は考えているか。

芝生滑り台の開場に向けて学校などに、こんな風に遊べますよとPRしてはどうか。

### 事務局

親御さんが見守る休憩所として、芝生滑り台の周辺にベンチを置き、木を植えて木陰をつくる計画を考えている。また、芝生滑り台と園路を挟んだ向かい側がベンチ付の広い休憩所になっている。

利用調整については今のところ検討していない。

### 委員

日本遺産にも認定された「塩の国」の活性化に向け、大人向けの塩田体験プログラムを検討してはどうか。また、そのプログラムは有料でも良いのでは。

### 赤穂市

観光客などが体験作業できるプログラムについて検討していく。

### 委員

赤穂海浜公園の広報について「塩の国」、キャンプ場、海洋科学館も含めて、赤穂海浜公園に来たら何かいろんなことができるということを一体的に広報することはできないか。

### 事務局

現在のところ、赤穂海浜公園の一体的な広報ができてないので、運営協議会で意見を頂き、利用者が具体的にイメージできる広報を検討していきたい。

### 委員

県内に県立公園はたくさんあるが、ここにしかないもの見ていく必要がある。その一つが「塩の国」で、もう一つが潮の干満によって塩水が入ってくる池がある。この塩田の跡というのがすごく特殊な生態系でこの環境を活かし、塩田跡生態系や干潟の生態系の再生と、それを子ども達に提供し生き物の豊かさを学ぶプログラムに繋げていくということを考えていければ、すごく魅力の高いものになると思う。

### 委員長

ここに来ればこういった観察ができる、蟹とかを捕まえてもいいといったような、使っていい資源をどんどんオープンにしていくという意味でも非常に貴重な意見である。

その他、「人と自然の博物館」と県環境政策課が協力して作った、未就学児向

けの遊べるコンテンツがあるが、これを公園管理事務所とか市の施設でやっていくということも検討してはどうか。

**委員**

ドローン禁止になっているが、確かに利用者の多い日曜日にドローン飛ばすのは危険で禁止すべきと思うが、平日の早朝の時間帯とか、危険でない時間帯に事前に申請すれば飛ばせるようにしてはどうか。撮影者が、撮影したものをYouTubeなどにアップすれば、それが公園の宣伝にもなる

公園内の禁止事項として鳥獣魚類の捕獲があるが、どこまで含まれるかわからない。蟹捕りなどは公園の中に豊かな自然環境があり、これを使えるとなれば公園資源としてすごく大事なもので、子どもが捕るぐらいは出来るように検討を進めてはと思うが。

**委員長**

公園利用ルールについて、こんなことしたらダメではなく、こういうふうなこととしていいですよというルールというか、マナーを提示するというのは非常にいいアイデアと思うが。

**事務局**

ドローン利用について内部で検討したが、今は危険と言うことで不可にしている。平日利用者が少ない時は可能性があると思っており、今後検討していきたい。

虫取りのルールなどは、行政は何か許可すると全て根こそぎ持って行かれるのではと心配してしまう。またどの様な言い方をするのかというのも難しく、子供が捕るくらいだったらというような、ある程度常識的な範囲で何が可能か今後検討していきたい。

**委員**

根こそぎ捕られないようにするためには、捕っていいエリアや時間帯を決めたりすれば防げると思う。やりながら考えていけばいいのでは。

**委員長**

やりながらというのはいいですね。マナーを守れる人を増やしていくことから始めるというように、徐々にできるところからやっていくということではいいのでは。

**休憩（5分間）**

## 議 事

### (2) 検討課題にかかる取り組みについて

- ・「魅力アップ計画」アクションプランで提言された、地域や企業・団体、大学との連携強化の取り組み 資料6

事務局説明

## 意見交換／各委員からの主な意見と事務局の回答

### 委員長

イベント利用に係る許可をどうわかりやすく周知するかという点と2点目が公園利用ルールを見直し、緩和すればもっと公園利用が増えるのではということでしたが、意見等いかがですか。

### 委員

募集するイベントは、商業イベントもOKということか。

### 事務局

営利を目的としたイベントもOKである。

### 委員

イベントについて、HP等で募集すると思うが、利用申請をスマホでできるようにすることは考えているか。

### 事務局

現在の手続では、紙ベースで利用申請書に印をついたものを出してもらう必要がある。ただし、様式の配布や手続きの相談等はHPからのダウンロードやメール等で対応できるようにしたいと考えている。電子申請となると全県的な課題であり赤穂だけとなるとしんどい。

公園の積極的な利用を促すためには、手続きがネックになると思っている。申請様式が条例で決まっておられ判子を押さなければならないため、最後は郵送か持参するしか手段はないが、それまでは全部電子でできるような逃げ道を作るとか。県が積極的に募集したいと思ったら、ネックになっているところを突破しないと話にならないと思っており、ここでのオープンな議論を突破口に条例の手続きを変えていける方法があるのか、検討を進めていきたいと思っている。

### 委員長

利用届出書（参考3）の提出も条例に基づいた手続きか。

### 事務局

利用届出書は条例に基づくものではない。

### 委員長

利用届というのは、場所を独占しないもので認めやすいので、今でもスマホでいけるか。

**事務局**

可能であると思う。

**委員長**

場所を独占するイベントについては協議が必要となるので判子を押すというのは残してもいいと思うが、独占しない利用届出書については、スマホなどで簡単に申請できる方法を早めに検討してもらいたい。

芦屋市では、スマホでパークレンタルという社会実験を行っている。場所の予約がスマホで簡単にでき、予約情報も見ることができるので空いてるところも探しやすく、公園利用が非常に活性化するという取り組みで参考にしてみてもどうか。

募集チラシに書いている、集客イベント・自主イベントとか、独占するとかの言葉は、もっとハードルを下げた言葉に替えた方がよいのでは。独占は、「貸切り」とかそういう言葉が一般的ではないか。

募集のサイトを立ち上げる場合は、チラシに入れられなかった写真等の情報を入れたほうがよい。いろんな利用が可能というイメージを揃えた方がいい。

**委員**

申請等について最後決済以外はネットで済ませられるよう考えていくという姿勢はすごくいい。あと営業については、HP掲載だけでなく、ターゲットを決めてちゃんと営業していくことが大事である。

例えば野外ライブなどで集客しようと思ったら、既存のライブハウスなどにチラシを送って公園で野外フェスしませんかということができのでは。その時、電源設備とか使える設備が何かという情報も合わせると効果的では。

**事務局**

野外ライブなどについては、昔コンサートを開催したこともあり利用してもらいたいが、騒音の問題もあるので、地元と調整しながらやっていく必要がある。

営業というご意見を頂いたが、役所が最も苦手とするところであり、資料5の「魅力アップ計画」アクションプラン管理運営に関する取り組み表にも(2)で広報、情報発信の強化として入っている。これについては、次回あたりからこの部分をしっかり議論して考えていきたい。

**委員**

チラシの一番下に、共催イベントはHPで積極的にPRしますとなっているが、共催イベントでないものはPRできないのか。共催イベントとそうでないイベントであまり差がないのであれば、一律こういった取り組みは公園のHPで広報していきますみたいなことで共通したメリットとして出しているのでは。

**事務局**

公園で実施するイベントについては、共催イベントもそうでないものも一律にイベントカレンダーに載せていく。

**委員長**

共催イベントとそうでないもので差が付かないのであれば、共通したメリットとして出していけば良い。

**委員**

地元としては、やはり公園の魅力が足りないと思っている。ここで何かしたいという意見は少ない。また、駐車場代500円も地元利用のネックになっている。駐車場無料とかいうことがあれば、利用者が増えると思う。

もう一つは、公園の入園は無料だが、わくわくランドで遊具を利用したらお金がすごくかかる。年間パスポートみたいなことで料金を安くするなど工夫できないか。

**委員長**

議題の1番目のスケジュールの中には、駐車料金の見直しや開園時間の延長とか入っている。一度試行的にやってみるとことを考えてはどうか。

**事務局**

駐車場料金は公園運営の大きな収入の一つであるので全て無料というのは難しいが、例えば曜日決めて実験的に無料にしてみることは今後検討していきたい。

わくわくランドの遊具については、現在、団体割引というのがあるが、その対象人数を少なくするなどの方策は考えている。年間パスポートの件も含め今後それを導入するのか、公園内部での検討課題と思っている。

**委員長**

大きいイベントの時は駐車料金500円を取っているか。

**事務局**

かき祭り以外は500円をとっている。

**委員長**

そういう時には無料にして、代わりにイベント主催者から取ってはどうか。

**事務局**

そのへんの兼ね合いは検討する必要があると思うが、駐車場収入が公園の管理運営の収入全体の一部になっていることはご理解いただきたい。

**委員**

潮干狩りは今年実施するのか。

**赤穂市漁協**

今のところ実施する予定。

**事務局**

海岸のぬかるみは、解消に向けて工事を進めており、海水浴場としての利用も可能となっている。海水浴場と公園の一体的な利用も考えていきたい。

**委員長**

その他ご意見はありませんか。ないようでしたら事務局に進行を返します。

**5 その他 / 事務局**

次回開催の日程調整について案内

- ・来年度は2回開催予定
- ・次回は8月の開催予定で7月に日程調整を行う。

令和2年3月13日（金）に開催された令和元年度 第1回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録については、上記のとおりであると認め署名する。

議事録署名人

会 長

赤澤 晃樹

委 員

櫻田 佳宏

(別添)

## 第1回赤穂海浜公園管理運営協議会 出席者名簿

令和2年3月13日(金)

赤穂海浜公園オートキャンプ場会議室

区分	所属等	氏名	出欠
学識者	兵庫県立大学 教授 (人と自然の博物館)	赤澤 宏樹	出席
	兵庫県立大学 准教授 (淡路景観園芸学校)	澤田 佳宏	出席
	関西福祉大学 准教授	山本 浩二	出席
地域団体	御崎地区連合自治会 会長	亀井 義明	出席
	尾崎地区連合自治会 会長	目木 敏明	出席
	地域活動連絡協議会 会長	岩崎 由美子	出席
	赤穂観光協会 事務局長	安田 哲	出席
	赤穂市漁業協同組合 参事	平田 一典	出席
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会 総務部長	五明田 禎久	代理 総務部公園支援課 主幹 石田 通孝
行政機関 (赤穂市)	観光監	西浦 万次	代理 産業観光課 観光係長 平松 孝朗
	教育委員会 教育次長	東南 武士	代理 教育委員会 生涯学習課長 高見 直樹
行政機関 (兵庫県)	県土整備部まちづくり局 公園緑地課 課長	黒田 正勝	欠席
	西播磨県民局光都土木事務所 所長	八木下 徹	出席

## 事務局

指定管理者	赤穂海浜公園管理事務所 所長	高田 直隆	
	赤穂海浜公園管理事務所 参事	荻野 直哉	
	赤穂海浜公園管理事務所 参事	圓見 文明	
	赤穂海浜公園管理事務所 参事	尼崎 佳三	
	赤穂海浜公園管理事務所 課長	小坂 真也	
西播磨県民局 光都土木事務 所	管理課 課長	小谷 和宏	
	港湾課 課長	柴崎 和人	